

聖霊の祝福 異邦人のペンテコステ

使徒の働き19:1-7節
2013,5,19 HKJCF

概観

序)①聖霊体験はあなたを画期的に変える②十字架・復活・昇天→信じる全ての人に聖霊③三位一体:助け主なる聖霊

- 1、救いと確信
- 2、聖書と福音理解
- 3、祈りと讃美
- 4、分ち合い・証・宣教(賜物と実は将来)適用)一步一步、霊的劣等感は不要、聖霊の満たしを求め、救いと献身の一致へ

I 救いと確信

- 1、救いはイエス様の十字架による
 - 2、十字架の赦しを受け入れれば誰も天国
 - 3、救いの確信により信仰生活は安定し、義務と自己実現から平安と喜びへ
- ①神の恵みと愛
②原罪の認識(関係と存在のズレ)
③悔い改め・明け渡し・聖霊の満たし
⇒聖霊は救いの確信と新生を明確に
I ヨハネ3:2 I ペテロ1:8-9 II コリント5:17

II 聖書と福音理解

- 1、聖書が恵みとなり、喜びとなる
- 2、聖書の権威への信頼が確立する
- 3、聖書の中心である福音理解が深まる
- 4、聖書が自分に適用可能となる
- 5、聖書があなたを持ち運ぶようになる
⇒み言+聖霊体験=恵み+喜び+希望(約束)

詩篇19:9-10 II テモテ3:16-17

III 祈りと讃美

- 1、み言と祈り:義務→楽しみ→主との自由な交わり(祈祷文も)
- 2、祈り:苦手→願い→交わり→聴従→執り成し→みこころ
- 3、讃美の解放:形式→交わり→礼拝(献身)⇒祈りと讃美が喜びとなり、キリストとの愛の交わりが実感され、情緒的にも満たされた信仰生活となる 歴史的礼拝でも現代的な礼拝でも、主と自由に交われるようになり、主への献身へと解放される

IV 分ち合い・証・宣教

- 1、分ち合い:自己防衛が大幅に減る
- 2、証の機会:謙りと開かれた心になり周りの人々も心を開き、福音を語る機会大
- 3、宣教の前進:弟子化(献身)・復活(キリストとの交わり・確信)・聖霊(福音信仰の深化・ビジョン・エンジン・賜物・実)
⇒愛・教会形成・宣教のために用いられる
使徒1:8